

主要産地における平成29年度産水稲の生育状況等について 第6報 (6月29日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年6月30日)

道府県	生育状況等	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)
北海道		育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)
		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
青森	(全道)	生育は、平年並に推移している(遅1日)。草丈は27.3cmでやや短く(平年並-1.9cm)、葉数は6.6枚で平年並(平年並-0.2枚)、葉数は199本/m ² で少ない(平年並-27本)。(北海道農政部 6月15日現在)
	(生育)	(空知) 6月上旬の低温や日照不足により、生育はやや停滞したが、平年並に進んでいる(遅1日)。草丈、葉数は平年並、茎数はやや少。(空知総合振興局 6月15日現在) (石狩) 草丈は平年並、葉数はやや多く、茎数は多い。茎数はほ場間差がある(早3日)。(石狩総合振興局 6月15日現在) (後志) 草丈、葉数は平年並、茎数は少ない(遅2日)。(後志総合振興局 6月15日現在) (根室) 草丈、葉数は平年並、茎数は多い。生育は平年並。(根室総合振興局 6月15日現在) (日高) 草丈、葉数は平年並、茎数は少ない。生育は平年並(遅2日)。(日高総合振興局 6月15日現在) (渡島) 草丈は平年並、葉数はやや少、茎数は少。生育は平年並に推移(遅1日)。(渡島総合振興局 6月15日現在) (檜山) 草丈はやや短、葉数はやや少、茎数は少ない。生育は平年よりやや遅れている(遅3日)。(檜山振興局 6月15日現在) (上川) 草丈は短、葉数はやや少、茎数は少。生育は平年よりやや遅れている(遅3日)。(上川総合振興局 6月15日現在) (留萌) 草丈はやや短、葉数は平年並、茎数はやや少。生育は平年並に進んでいる(早1日)。(留萌振興局 6月15日現在) (オホーツク) 草丈は短い、葉数は平年並、茎数は少ない。低温・曇照により生育はやや停滞した。 (オホーツク総合振興局 6月15日現在)
岩手	(生育)	・6月20日現在、県生育観測所の生育はやや遅れており、草丈・葉数・葉数とも平年を下回った。「つがるロマン」(全県8地点)の草丈は34.9cm(平年比97%)、葉数は11.6本/株(平年比95%)、葉数は7.6枚(平年並-0.2)。「まっしぐら」(全県13地点)の草丈は39.5cm(平年比95%)、葉数は9.6本/株(平年比96%)、葉数は6.9枚(平年並-0.4)。「ほっかりん」(下北1地点)の草丈は33.5cm(平年比92%)、葉数は7.3本/株(平年比73%)、葉数は5.3枚(平年並-1.2)。(青森県 6月23日付) <6月20日現在の生育状況> ・黒石の「つがるロマン」は、草丈が32.5cmで平年より4.3cm短く、株当たり葉数は15.6本で平年より2.2本少なく、葉齢は7.2葉で平年より0.5葉少なかった。また、「青天の霹靂」は草丈が39.3cmで前年より6.8cm短く、株当たり葉数は15.2本で前年より2.5本少なく、葉齢は6.9葉で前年より0.2葉少なかった。 ・十和町の「まっしぐら」は、草丈が43.0cmで平年より1.4cm短く、株当たり葉数は15.7本で概ね平年並、葉齢は7.6葉で平年並であった。 (青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月21日)
	(生育)	・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、稲こうじ病は平年並の予報、コバネイナゴ、フタオビコヤガはやや多く、アカヒゲホソドリカスミカメは平年並の予報。 (青森県病害虫防除所 6月28日公表)
宮城	(生育)	・6月20日現在の生育は、平年に比べて2日程度遅くなっている。草丈は30.8cm(平年比82%)、1m当たり葉数は376本(平年比96%)、葉数は8.1枚(平年並-0.3枚)、葉色はGM値が40.0(平年並-3.1)となっている。【県全体の平均】(宮城県 6月21日付) (仙台) 6月20日現在、ひとめぼれ及びササニシキの生育は、葉数から判断して平年より1~2日程度遅くなっている。葉数は、平年よりやや少なめになっている。ひとめぼれ(管内平均)の草丈は30.9cm(平年比81%)、葉数は382本/m ² (平年比102%)、増加葉数(前回調査からの増加分)は158本/m ² (平年比117%)、葉数は8.4枚(平年並-0.2枚)、葉色(GM値)は40.0(平年並-1.1)、ササニシキ(管内平均)の草丈は29.8cm(平年比80%)、葉数は306本/m ² (平年比94%)、増加葉数は129本/m ² (平年比90%)、葉数は8.1枚(平年並-0.4枚)、葉色(GM値)は38.6(平年並-2.3)。(宮城県仙台市農業改良普及センター 6月22日付) (美里) 6月20日現在、草丈は前年および平年より短く、葉数は前年および平年より大抵に少ない。葉数は涌谷ひとめぼれでは前年より1週間程度遅れており、葉色は前年および平年より淡い。ひとめぼれ(県平均)は、草丈は30.3cm(平年比80%)、葉数は358.0/m ² (平年比93%)、葉数は8.1枚(平年並-0.3枚)、葉色(SPAD値)は40.2(平年並-3.3)、直播栽培(鉄コーティング湛水直播)のひとめぼれ(小牛田)は、草丈は19.9cm(前年比90%)、葉数は223.1本/m ² (前年比167%)、葉数は8.0枚(前年並-0.6枚)、葉色(SPAD値)は39.9(平年並-3.5)。(美里農業改良普及センター 6月22日付) (栗原) 6月20日現在、ひとめぼれの生育調査(3カ所平均)の生育は、葉数からみると、生育はほぼ平年並に進んでおり、有効葉数(460本/m ²)が確保された調査地がある。草丈は平年より短く、葉色は、前回調査より濃くなったが、平年より淡い状況。草丈は短く(平年比84%)葉数はほ場間差が大きく、平年より多いほ場と少ないほ場がある(平年比90~154%)。平坦部の5月上旬中に移植したほ場では、有効葉数460本/m ² が確保された。葉数は平年並(平年並+0.1枚)、葉色は淡い(平年比92%)。県全体では、有効葉数は8.1枚(平年並-0.3枚)で、生育は平年より2日遅れている。草丈は30.8cm(平年比96%)、葉数は376本/m ² (平年比96%)、葉色(GM値)は40.0(平年並-0.3)。(栗原農業改良普及センター 6月22日付) (石巻) 6月20日現在の生育調査の生育状況は、ひとめぼれ、ササニシキともに、葉数は概ね平年並となっている。既にひとめぼれの目標有効葉数(480~500本/m ²)を確保しているほ場が見られる。ひとめぼれ、ササニシキともに草丈・葉色が平年より低くなっている。乾田直播展示の生育状況は、苗立ち数が少なく、不揃いだったため、草丈・葉数ともに、平年を下回っている。(石巻農業改良普及センター-石巻地方米づくり推進本部 6月22日付) (大崎) 6月20日現在、生育はやや平年を下回っている。県全体(ひとめぼれ、ササニシキ、まなむすめの生育調査ほ4地点)の平均値では、草丈は30.8cm(平年比82%)で平年に比べ短い。茎数の平均値は376本/m ² (平年比96%)で、北部平坦のササニシキ及び西部丘陵のまなむすめは平年に比べて多く、その他の地点・品種は平年に比べて少ない。葉数は8.1枚(平年並-0.3枚)で平年を下回っている。葉色(SPAD)は40.0(平年並-3.0)で、全ての地点・品種において、平年に比べ淡い傾向にある。(大崎農業改良普及センター 6月22日付) (本吉) 6月20日現在、生育調査(ひとめぼれ)では、草丈、葉数は平年より少なく、葉数は平年より0.8枚少なく、葉色はやや淡く推移している。南三陸町入谷の生育調査(ササニシキ)では、草丈、葉数は平年より少なく、葉数は平年より0.3枚少なく、葉色はやや淡く推移している。管内の生育については、平年よりやや遅れて経過している。直播栽培普及展示の生育状況(鉄コーティング湛水直播)は、草丈は平年並、葉数は平年の2倍程度、葉数は平年並+1.1枚と生育は順調に進んでいる。(宮城県本吉農業改良普及センター 6月21日付) (登米) 6月20日現在の生育状況は、平年に比べ草丈は短め、葉数は平年並だがほ場によりバラツキがみられる。葉数は少なめで生育はやや遅れ、葉色はやや淡め。6月に入り、日平均気温が平年より低い日が続いていることから、生育は引き続き平年より遅れている。直播栽培の生育状況は、草丈はほ場によりバラツキがみられるが、やや短め。葉数はほ場によりバラツキがみられるが、やや少ない。葉数は少なめで、生育はやや遅れ、葉色はやや淡め。例年より苗立ちがよくなったため、葉数が多く経過している。葉数から生育は前年より遅れている。(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 6月22日付)
	(生育)	・7月の病害虫の発生量は、葉いもち、稲こうじ病は平年並の予報、コバネイナゴ、フタオビコヤガはやや多く、アカヒゲホソドリカスミカメは平年並の予報。 (岩手県病害虫防除所 6月28日付)
秋田	(由利)	6月上旬の低温で生育が一時停滞していましたが平場を中心に回復してきている。(6月23日付) 6月9日の水稲定点調査結果(3品種・移植8ヶ所平均)によると、草丈は24.6cmで平年よりやや短く(平年比94%)、m ² あたり葉数は149本で平年より少なく(平年比67%)、葉数は45.6葉(平年並-0.7葉)と、6月の低温の影響で生育は平年より遅くなっている。(6月16日付)
	(生育)	(雄勝) 好天が続いたことから生育は回復傾向となっている。(6月23日付) 6月10日現在のあきたこまちの生育状況(管内現場8ヶ所平均)は、草丈21.2cm(平年比86%)、草丈89本/m ² (同81%)、葉数5.3葉(同-0.5枚)となっている。曇天と低温の影響により、生育はやや遅れている。(6月16日付) (秋田) 6月10日現在の定点調査(あきたこまち：10地点平均)の草丈は24.8cmで平年の95%と平年より短く、1m当たり葉数は130本で平年の73%と平年より少なく、葉数は5.9葉で平年より0.6葉少なく、生育は平年より遅くなっている。(6月16日付) (仙北) 6月19日現在の生育状況は、草丈27.1cm、葉数197本/m ² 、葉数6.7葉、葉数から見ると引き続き生育は遅れているが、葉色の開間に伴い葉身・5号分けの発生が見られ葉数が増加しており、生育は回復傾向にある。(6月23日付) (平鹿) 移植作業の終期は平年より1日早い5月30日となり、5月30日現在の移植作業の進捗率は98.7%となっている。(6月2日付) (北秋田) 5月30日現在の田植作業は、98%の進捗となっており、終期は、平年並の5月28日となった。生育は概ね順調。(6月2日付) (鹿角) 耕起の5月10日現在の進捗状況は89.5%で5月4日(平年5月7日)に盛期を迎えた。(5月12日付) (秋田県農林政策課)
		・6月の病害虫発生量予報 葉いもち、ばか苗病はやや少ない、イネミズウムシは平年並、イネヒボソハマシは少ない、イネミギワムシは少ない、ニカメイガは少ない、アカスジカスミカメは多い(前年並)、アカヒゲホソドリカスミカメは平年並、フタオビコヤガは少ない (秋田県病害虫防除所 5月26日公表)

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体公表資料等(抜粋)
山形	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、平年と比較して2日程度の遅れで、生育量はやや少ない状況が続いていたが、天候の回復に伴って生育も回復傾向になっている。草丈は平年より短い、葉数は平年より少ない、葉数は2日程度の遅れ、葉色は平年より濃い。 6月20日現在の「つや姫」の生育は、分けつが発生はやや遅れているので、引き続き浅水管理により葉数の確保に努めるよう指導。草丈は平年より短い、葉数は平年より少ない、葉数は3日程度の遅れ、葉色は平年より濃い。(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月20日付) <p>(畜 腸) 低温等により分けつが遅れており、葉数が少なく、生育もやや遅れている。生育診断圃のはえぬきの生育状況は、草丈は長く、葉数は少なく、葉数は平年並～やや少ない、つや姫は、草丈は長く、葉数は少なく、葉数は平年並。(オールやまがた米づくり日本一運動産地地域本部実践課 6月26日付)</p> <p>(西 村 山) 生育は平年に比べ草丈はやや短く、葉数、葉数はやや少なく、葉色はやや薄く、全般的に3日程度遅れているが、出穂期はほぼ平年並と見込まれる。はえぬき作況ほ場(寒河江市高層)での6月20日現在の生育状況は、草丈は33.5cm(平年比95%)、葉数は433本/m²(同比92%)、葉数は7.8枚(平年差-0.5枚)、葉色(SPAD)は40.2(同左-0.9)。(JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 6月26日付)</p> <p>(北 村 山) 6月20日現在のイネの生育は、平年に比べ3~4日程度遅れている。m当たり葉数は少なく、草丈は短く、葉色はやや薄い状況。平坦部「はえぬき」(村山市)の草丈は28.0cm(平年比79%)、葉数は293本/m²(平年比74%)、葉数は1枚(平年差-0.5枚)、葉色(SPAD)は36.0(平年差-2.5)。平坦部「つや姫」(村山市)の草丈は29.1cm(平年比88%)、葉数は294本/m²(平年比67%)、葉数は6.9枚(平年差-0.7枚)、葉色(SPAD)は35.9(平年差-5.3)。中山間部「あきたこまち」(尾花京市)の草丈は30.2cm(平年比94%)、葉数は441本/m²(平年比149%)、葉数は7.5枚(平年差0.0枚)、葉色(SPAD)は38.9(平年差-0.4)。(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部 北村山農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(鶴岡田川) 6月20日現在の生育状況は、草丈は短く、葉数は少なく、葉色は淡い生育となっていて、葉数は平年並~4日程度の遅れとなっている。生育診断圃のはえぬき(鶴岡市矢野)は、草丈は29.3cm(平年比87%)、葉数は510本/m²(平年比92%)、葉数は8.2枚(平年差+0.1枚)、葉色(SPAD)は39.3(平年差-2.0)。つや姫展示圃の生育(鶴岡市上清水)は、草丈は31.6cm(平年比86%)、葉数は326本/m²(平年比76%)、葉数は7.5枚(平年差-0.6枚)、葉色(SPAD)は38.7(平年差-4.0)。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>つや姫の6月20日の調査結果は、平年に比べ草丈は短く、葉数は少なく、葉数は4日程度遅れ、葉色は淡く経過している。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(東南村山) 生育は平年と比較してやや遅れている。6月20日現在、葉数展開の遅れに伴い、葉数はやや少ない状況。特に本田移植が遅れた圃場では、分けつが発生が平年より少ない。(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>6月9日現在のつや姫は、低温等の影響で葉数は少なく推移している。(山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部村山農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(酒 田) 6月20日現在、「つや姫」の生育は、低温と日照不足により、生育が遅れているが、まだ分けつが期待できる葉齢。草丈は「やや少ない」(増加中)、葉数の展開は「5日程度遅い」、葉色は「やや薄い」現在、分けつの盛期を迎える時期だが、生育が遅れて葉数が不足し、葉色が低下している圃場が多く見られる。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>6月9日現在、はえぬきの草丈は「長く」、葉数は「やや少なく」、葉数、葉色は「平年並」。ひとめぼれの草丈は「長く」、葉数、葉数、葉色はいずれも「平年並」。つや姫の草丈は「平年並」、葉数は「少なく」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(最 上) 6月上旬の極端な低温の影響により、6月9日現在、葉数増加が抑制されている圃場が多くなっている。(最上総合支庁農業技術普及課 6月14日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 7月の病害虫の発生量は、葉いもちや平年並、紋枯病はやや少なく、斑点米カメムシ類はやや多く、フタオビヨコガ(イネアオムシ)(第2世代)は少なく、コバネイチゴはやや少ないと予報(山形県病害虫防除所 6月28日公表)
福島	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月13日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)の草丈、葉数、会津地域研(会津坂下)の葉数が平年を下回っている。各調査地点ともに主稈葉数は平年より0.2~1.0枚少なく、生育は最大4~5日程度の遅れとなっている。また、葉色は平年より濃い。(福島県農水産部 6月14日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 葉いもちの発生量は平年並、イネドロオムシの発生時期は早く発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量はやや少、イネミスゾウムシの発生時期はやや早く発生量はやや少と予報(福島県病害虫防除所 5月26日公表)
茨城	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水戸市 6月20日現在、5月1日移植の「あきたこまち」の幼穂の発育程度および水稲発育予測モデルから予測される出穂期は7月18日であり、平年より2日遅い。「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は2日遅い。草丈は「あきたこまち」は短く、「コシヒカリ」は短く短い。両品種ともに葉数は平年並、葉色は平年並である。5月10日移植の「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は平年より2日遅い。草丈は平年より短く、葉数はやや多く、葉色はやや濃い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月26日付) 龍ヶ崎市 6月16日現在、4月27日移植の「あきたこまち」は、6月16日時点で幼穂が0.8mm確認できた。幼穂長から予測される出穂期は平年並で、7月13日頃。「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は平年より3日早い。平年に比べ、両品種の草丈はやや長く、葉色は「あきたこまち」で薄く、「コシヒカリ」で濃い。5月8日移植の「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より3日程度進んでいる。両品種の草丈は平年よりやや長く、葉色は平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月26日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 7月の葉いもち、斑点米カメムシ類の発生量は県下全域で平年並と予報(茨城県病害虫防除所 6月29日公表) 関東でイネ縞葉枯病(ヒメトビウカ)の発生が「多い」と予想(農林水産省 6月14日付) 県西地域、県南の一部地域でイネ縞葉枯病の発生量が多いと予報(茨城県病害虫防除所 6月12日公表)
栃木	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <早植栽培コシヒカリの6月22日調査結果(16か所平均)> ・草丈は49.4cmでやや短く(平年比95%)、葉数は576本/m²でやや多く(103%)、葉齢は10.1で平年より0.1多く、葉色は4.0で平年より0.5淡い。地域によりバラツキがあるが、葉齢から判断して、生育は平年並から1日程度進んでいると考えられる。 ・生育診断圃(葉色×葉数)は平年比92%と小さい。 ・早植コシヒカリ(5月4日移植)の出穂期は、宇都宮市、大田原市とも平年より4日程度早いと推定される。(栃木県農政部長官技術課 6月26日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月下旬~7月下旬の縞葉枯病の発生量はやや多いと予報(栃木県農政環境指導センター 6月16日公表) 関東でイネ縞葉枯病(ヒメトビウカ)の発生が「多い」と予想(農林水産省 6月14日付)
埼玉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <センター内生育相> ・早期栽培(5月2日植 コシヒカリ)の育苗期間は、平年並から高温で経過したものの、苗の徒長は見られず、充実度の高い苗が得られた。強風等による植え痛みもなく、活着は良好であった。移植後から高温・多照で経過したため、葉位の進展は早く推移しており、生育量は多く、順調な生育である。 ・早植栽培(5月19日植 彩のかがやき)の育苗期間は、平年に比べて高温で経過したものの、苗の徒長は見られず、充実度の高い苗が得られた。強風等による植え痛みもなく、活着は良好であり、その後の生育も順調である。 <県内全般> ・早期・早植栽培とも田植作業は好天に恵まれ平年同様順調に進捗し、活着は良好で初期生育は順調である。(埼玉県農業技術研究センター 6月2日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> 7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少、紋枯病、ヒメトビウカ、縞葉枯病はやや多、ツマグロヨコバイはやや少、イネゾウムシ(第2世代幼虫)(イチモンジセセリ)は平年並、セジロウカはやや多、斑点米カメムシは多、イネアオムシ(第3世代幼虫)(フタオビヨコガ)は平年並の予報(埼玉県病害虫防除所 6月28日公表) 関東でイネ縞葉枯病(ヒメトビウカ)の発生が「多い」と予想(農林水産省 6月14日付)
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月26日現在、4月20日頃に移植した「ふさおとめ」、「ふさこがね」は平年と比較してやや早く幼穂形成期を迎えた。6月第3、4半旬はやや低湿に推移し、「ふさおとめ」、「ふさこがね」の出穂期は平年並になると予測される。「コシヒカリ」の幼穂形成期も平年並と予測される。また、5月1日頃に移植した「コシヒカリ」の葉数はやや多くなっている。(千葉県農林水産部 6月28日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 関東でイネ縞葉枯病(ヒメトビウカ)の発生が「多い」と予想(農林水産省 6月14日付) 向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病(葉いもち)、ばか苗病は平年並、イネドロオムシは少、ジャンボトニシはやや多、イネクロカメムシは平年並、ヒメトビウカはやや多、セジロウカはやや少の予報(千葉県農林総合研究センター 6月14日公表)

	<p style="text-align: center;">平年に対する遅速等</p>	<p style="text-align: center;">同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）</p>
<p>新潟</p>	<p>・6月20日現在、コシヒカリは、県平均では指標値（理想的な生育めやす）に比べ、草丈は「短い」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「やや濃い」状況。こしいぶきは、県平均では指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」の状況。ただし、田植えの時期や標高によっては生育が遅れているほ場も散見される。（新潟県農林水産部 6月21日付）</p> <p>（新潟田） 出穂は、早生、コシヒカリともに平年より3日程度遅いと予想。（6月23日付） コシヒカリの生育概況（6月20日調査）は、草丈は32cmで指標比95%（やや短）、茎数は360本/m²で指標比103%（並）、葉数は8.4葉で指標差+0.1葉（並）、葉色は葉緑素計37.8で指標差+0.3（並）。6月上旬の低温傾向により、現在生育は遅れ気味。草丈の伸長も鈍化し、指標値に比べ草丈はやや短く、茎数・葉色・葉齢は並になっている。（新潟田農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（十日町） 6月22日現在、5月下旬以降に移植されたほ場は、低温の影響で初期分げつの発生が抑制が見られたが、現在回復して来ている。（JA十日町、十日町農業普及指導センター 6月23日付） 6月20日現在の生育は、田植時期の違いによる生育差が大きく、5月15日頃までに移植されたほ場は葉色濃く、分げつ発生旺盛ですが、5月下旬以降に移植されたほ場は、茎数・葉色の回復は見られるもののまだ淡く、茎数は少ない傾向。（十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月20日付）</p> <p>（南魚沼） 6月20日現在、コシヒカリ（生育調査地点14ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は30cmで短く（指標値比86%）、茎数は258本/m²でやや少ない（指標値比92%）、葉色（SPAD値）は37.2で並（指標値差-0.8）、葉数は7.5葉で並（指標値差±0.0）。5月中旬以前に田植えしたほ場では、十分な茎数が確保されている。（南魚沼地域振興局農林振興部査及課 6月21日付）</p> <p>（新潟） 6月20日現在、出穂期は早生が「平年より2日遅い」、中生は「平年より4日遅い」見込み。（新潟農業普及指導センター 6月22日付） 6月20日調査のコシヒカリ（調査点数9）の生育状況は、目標に比べて、草丈は33cmで「短い」（目標比83%）、茎数は374本/m²で「並」（目標比99%）、葉数は8.3葉で葉数の進みは「やや遅い」（目標差-0.6葉）、葉色（SPAD値）は37.5で「やや淡い」（目標差-1.2）。6月2日以降は低温の日が多く、草丈・葉数の増加は少ない。こしいぶき（調査点数2）の草丈は32cmで指標比90%、茎数は456本/m²で指標比97%、葉数は9.0葉で指標差-0.1葉、葉色（SPAD値）は41.8で指標差+1.8。新之助の草丈は28cmで指標比82%、茎数は306本/m²で指標比75%、葉数は8.2葉で指標差-1.3葉、葉色（SPAD値）は38.2で指標差-1.8。（新潟農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（長岡） 6月19日現在、幼穂形成期及び出穂期は、前年より5日程度遅く、平年より3日程度遅いと予想される。（長岡農業普及指導センター 6月22日付） 6月20日現在の生育は、指標値に比べ、草丈は短く、茎数はやや少、葉数・葉色は並となっている。コシヒカリの生育は指標値に比べ、草丈は88%、茎数は91%、葉数は±0.0葉、葉色（SPAD）は-0.2である。（長岡農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（岩船） 6月20日現在、草丈は短く、茎数は少ない、葉数はやや遅い、葉色はやや淡い、6月の低温により葉数の進みが鈍化し、コシヒカリは指標値に比べ3日程度遅れている。草丈は、現在の完全開葉が早く前調査と同程度。地域差・ほ場差はあるものの、茎数は全般的に少ないが、コシヒカリでは中干し開始時期に達しているほ場が多い。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は30cm（指標比82%）、茎数は256本/m²（指標比77%）、葉数は7.7葉（指標差-0.6葉）、葉色（SPAD値）は35.4（目標差-2.6）。（村上農業普及指導センター 6月20日現在）</p> <p>（三条） 生育は、低温傾向により引き続き停滞気味。指標値に比べ「草丈短、茎数少、葉色やや淡」と引き続き緩慢となっている。しかし、近年値と比べると茎数は「やや少ない（近年比95%）」程度。6月20日の調査結果（管内コシヒカリ35ヶ所、こしいぶき9ヶ所平均）は、コシヒカリの草丈は33cmで指標比83%、茎数は384本/m²で指標比84%、葉数は8.4葉で指標差-0.2葉、葉色は38.9で指標差-1.1。こしいぶきの草丈は31cmで指標比81%、茎数は405本/m²で指標比88%、葉数は8.5葉で指標差-0.7葉、葉色は41.2で指標差-0.3。（三条農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（魚沼） 6月20日のコシヒカリ生育調査結果（4地点平均値）は、草丈31cm（指標値比84%）、茎数356本/m²（指標値比102%）、葉数8.1葉（指標値差+0.1葉）、葉色（SPAD値）39.0（指標値差+1.0）。草丈は短い、茎数、葉数、葉色は指標値並。5月下旬の田植えほ場や標高の高いほ場などは、生育のほ場間差が大きい。（魚沼農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（柏崎） 6月20日現在、こしいぶきとコシヒカリともに、やや生育が遅れている。指標値と比較して、草丈：短、茎数：やや少、葉数：やや遅、葉色：並、こしいぶき（3ヶ所平均）の生育状況は、草丈は29cmで指標比82%、茎数は384本/m²で指標比89%、葉数は8.6葉で指標差-0.2葉、葉色（SPAD）は41.6で指標差+1.6。コシヒカリ（6ヶ所平均）の生育状況は、草丈は32cmで指標比84%、茎数は362本/m²で指標比95%、葉数は8.3葉で指標差-0.2葉、葉色（SPAD）は38.3で指標差+0.3。（柏崎農業普及指導センター 6月20日付） 6月20日現在の新之助の生育は、調査ほ平均は指標値と比べ、初期の水管理の影響等で、生育が1～4日程度遅れており、草丈は短く、葉色は概ね並の状態。茎数は生育が遅れていることから少ないが、現在、少なな分げつが発生中。（柏崎農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（上越） 6月20日現在、「コシヒカリ」の生育は、低温が続いているため、草丈（指標値比98%）、葉数（指標値差+0.3葉）、葉色（SPAD値-0.3）は指標値並だが、茎数（指標値比130%）は依然として多くなっている。高標高地や5月下旬に移植した遅穂のほ場では低温の影響が大きくなっている。「こしいぶき」の草丈は短く、茎数が多くなっている。（上越農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（佐渡） 6月20日現在、これまでの低温により生育が抑制され、草丈は短く、葉色も淡い傾向にあるが、多くのほ場では必要な茎数が確保されている。コシヒカリ（拠点ほ場8ヶ所の平均）の生育状況は、目標値に比べ草丈は32cmで短く（目標値比89%）、葉数は4.05本/m²で並（目標値比112%）で、葉数は8.6葉で並（目標値差-0.4葉）、葉色（SPAD値）は35.6でやや淡い（目標値差-3.4）。（佐渡農業普及指導センター 6月20日付）</p> <p>（糸魚川） 6月8日現在、コシヒカリ（田植え日：5月2～23日）の生育状況は、指標値に比べ草丈は並、茎数は多く、葉数は並、葉色は濃い。5月10日頃までの田植えのほ場は、茎数が指標値よりかなり多くなっている。5月中旬から下旬田植えのほ場は、分けつが発生しているが、5月下旬の高温によるワキや6月上旬の低温により葉色が淡いほ場もみられる。（糸魚川地域農林振興部 6月9日付）</p> <p>（巻） 6月8日調査の結果、ワキ等により下葉に傷みが見られるほ場が目立っている。6月第1半旬の気温が低く推移したこと、生育量の伸びはやや鈍化し、コシヒカリとこしいぶきでは指標値並となった。そのために茎数はやや少ない状態となっている。（巻農業普及指導センター 6月8日付）</p>	<p>・7月の病害虫の発生量は、葉いもちはやや少ない、紋枯病、稲こやし病、ニカメイチュウ、セジロウカ、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類は平年並、イネアオムシはやや少ない、ヨコメダイガ、ヨバネイナゴは平年並と予報（新潟県病害虫防除所 6月29日公表）</p> <p>・北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）</p>
<p>富山</p>	<p>＜生育観測ほデータ（6月27日現在）＞ （てんたかく） 平年に比べ、葉齢の展開がやや遅れており、草丈は48.1cm（平年比85%）で短く、茎数は684本/m²（平年比111%）で多く、葉色（SPAD値）は40.8（平年差+0.7）で平年並となっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、茎数は多く、葉色は平年並に推移している。幼穂形成期は、平年より2日遅い7月2日頃と見込まれる。出穂期は、7月24日頃と見込まれる。</p> <p>（コシヒカリ） 平年に比べ、葉齢の展開がやや遅れており、草丈は39.1cm（平年比77%）でかなり短く、茎数は610本/m²（平年比117%）で多く、葉色（SPAD値）は39.4（平年差+0.4）で平年並となっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、茎数は多く、葉色は平年並に推移している。生育量（草丈×m²×葉数×1000）の平均値は、103と概ね平年並であるが、70から133とばらつきが大きくなっている。幼穂形成期は、平年より2日程度遅い7月14日頃と見込まれる。</p> <p>（てんこもり） 平年に比べ、葉齢の展開がやや遅れており、草丈は33.9cm（平年比76%）でかなり短く、茎数は711本/m²（平年比107%）でやや多く、葉色（SPAD値）は38.4（平年差-2.1）でやや遅くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、茎数はやや多く、葉色はやや遅く推移している。幼穂形成期は、平年より2日程度遅い7月17日頃と見込まれる。（富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月27日付）</p> <p>＜直播栽培の生育状況（6月28日現在）＞ ・湛水土中直播栽培（カルパ）は、平年に比べ、葉齢の展開はやや遅れており、草丈はかなり短く、茎数は多く、葉色はやや遅く推移している。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、茎数は多く、葉色はやや遅く推移している。</p> <p>・湛水表面直播栽培（鉄）は、近年に比べ、葉齢の展開はやや遅れており、草丈は短く、茎数はやや多く、葉色はやや遅く推移している。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、茎数はやや多く、葉色はやや遅く推移している。</p> <p>・乾田/湛水直播栽培は、平年に比べ、葉齢の展開はやや遅れており、草丈は短く、茎数は多く、葉色は並となっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は短く、茎数は多く、葉色は平年並に推移している。（富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月28日付）</p>	<p>・斑点米カメムシ類（アサジカスミカメ等）の生息数が水田内および畦畔において多く、斑点米被害の増加が懸念される。（富山県農林水産総合技術センター 6月22日公表）</p> <p>・6月の病害虫の発生量は、葉いもちや平年並、紋枯病は多い、アカヒゲホソリドリスミカメはやや多い、アサジカスミカメ、トゲシロホシカメムシは平年並、ニカメイガは発生時期が早く発生量は平年並（局部多い）、イネミズゾウムシは平年並、イネドロオムシは少ない、ツマグロヨコバイはやや多いと予報（富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表）</p> <p>・北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）</p>

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
石川 (生育)	<ul style="list-style-type: none"> 出穂期（早生品種）は、県内の生育観測田における早生品種ゆめみづほで幼穂が確認されており、(0.5～1mm程度)、ゆめみづほの出穂期は加賀地域で7月18～20日頃、能登地域（羽咋～中能登）では7月23日頃と近年並で、前年より3～4日遅くなると思われる。また、能登地域（奥能登～珠洲）の能登ひかりの出穂期は、7月27日頃と予想され、近年より3日、前年より9日程度遅くなると思われる。 草丈は、コシヒカリは年比81%（加賀地域83%、能登地域80%）と短く、ゆめみづほは近年比82%（加賀地域82%、能登地域85%）と短い。但し、葉齢の展開状況から勘案すると、いずれの品種も草丈は年並と考えられる。 mあたりの莖数は、いずれの品種も莖数の増加が緩やかとなっており、最高分げつ期を迎えていると思われるが、前年に比べ、やや遅れている。コシヒカリは年比104%（加賀地域106%、能登地域101%）と年並及び前年並、ゆめみづほは、近年比107%（加賀地域107%、能登地域113%）と加賀地域では近年及び前年並、能登地域では近年及び前年よりやや多くなっている。 葉齢は、コシヒカリは県平均-0.5葉（県平均95%、加賀-0.3葉、能登-0.5葉）となっている。コシヒカリの葉齢展開からみた生育の遅速は、平年に比べて3～4日程度遅いと見込まれる。 （農林総合研究センター 6月23日調査） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月下旬～7月中旬の病害虫の発生量は、葉いもちは年並、紋枯病は年並、斑点米カメムシ類は多、セジロウカとコノメイガは年並、フタバコヤガは年並と予報（石川県農林総合技術センター 6月15日公表） 北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付）
福井 (生育)	<ul style="list-style-type: none"> 6月22日調査の結果、全体的に草丈短い。直播栽培では分けつが過剰となってきている。ハナエテゼンで米調中に幼穂形成期となる見込み。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月23日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸でイネいもち病（葉いもち）とイネミズゾウムシの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付） 6月の病害虫の発生量は、葉いもちが年並より多い、紋枯病は年並、コノメイガは年並よりやや多い、イネミズゾウムシは年並より少ない、イネゾウムシは年並、イネクビソウハムシは年並より少ない、イネヒメハモグリバエは年並の予報（福井県農業試験場病害虫防除室 6月1日公表）
長野 (生育)	<ul style="list-style-type: none"> 6月19日調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八重森（標高349m））の移植後30日の生育は、低温傾向の影響により、「あきたこまち」「コシヒカリ」とも平年に比較して草丈は短く、莖数は少ない。 （長野県農業試験場 6月21日） 6月15日現在、豊科定点圃場では、草丈は年並～やや短く、莖数は年並～やや多い傾向。コシヒカリの草丈は30cm（年比100%）、莖数は333本/m²（年比97%）。あきたこまちは草丈は27cm（年比93%）、莖数は316本/m²（年比107%）。活着は良好だったが、5月の高温の影響で「ガスわき」が発生し、根の傷みから下葉の黄化や葉先枯れが目立つ。 生育は年並より2～3日遅いと推定される。平坦地であきたこまちは5月上旬に移植したほ場では、6月末～7月上旬より幼穂形成期を迎えることが予想される。 （松本農業改良普及センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月15日からの向こう1か月間、葉いもち、綿葉枯病・黒条萎縮病、ツマグロヨコバイ第1回成虫（黄萎病）の発生量は年並、コノメイチュウ 第1世代幼虫の発生量はやや少、イネクビソウハムシ、イネミズゾウムシの発生量は年並の予報（長野県病害虫防除所 6月15日公表）
滋賀 (生育)	<ul style="list-style-type: none"> 6月20日現在、全般に草丈は短いものの、莖数が多く、葉色、葉齢は年並となっている。ただし、移植日やほ場条件により生育の差は大きい。「コシヒカリ」では、5月10日移植の幼穂形成期は7月6日頃と予測される。 「コシヒカリ」の秋の莖数は、ともに年並より短かった。莖数は、両品種ともに前回調査時（6月10日）に比べて急激に増加した。「コシヒカリ」は年並より約20%、「秋の詩」は年並より30%多かった。葉数は、両品種ともに年並であった。 5月上旬移植の「みずかがみ」では、6月25日前後に幼穂形成期を迎えている。 （滋賀県農業技術振興センター 6月27日付） みずかがみの生育ステージは、昨年と同程度～やや遅い状況となっている。 （滋賀県農業技術振興センター 6月19日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月15日からの向こう1か月間、葉いもち、紋枯病の発生量は年並、コノメイガの発生量はやや少、イネミズゾウムシは年並の予報（滋賀県病害虫防除所 6月20日公表）
兵庫 (育苗・田植)	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日現在、県北は本田での生育はほぼ順調である。県南は苗の生育は順調である。 （兵庫県農政環境部 6月1日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は年並、ヒメトビウカ（綿葉枯病）の発生量はやや多、セジロウカ、トビウカワの発生量は年並の予報（兵庫県病害虫防除所 5月30日公表）
岡山		<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもちの発生量は年並、ヒメトビウカの発生量は少、ツマグロヨコバイの発生量は少、コノメイガの発生量は年並の予報（岡山県病害虫防除所 6月1日公表）
広島		
山口 (生育)	<ul style="list-style-type: none"> 5月上中旬の移植では、莖数は年並よりやや多い状況。5月下旬以降の移植分の生育は全体的に良好で、おむね年並。一方で、水不足を考慮して湛水管理を続けているほ場では、一部根腐れを起しており、葉の黄化がみられる。移植して湛水が続いているところは、徒長気味の生育になっている。 （JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月21日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月のイネ綿葉枯病（ヒメトビウカ媒介）の発生量は年並の予報（山口県病害虫防除所 6月1日公表）
愛媛 (田植)	<ul style="list-style-type: none"> 6月は普通期水稲の田植え時である。高温発熱障害を回避するため極端な早植えは避けるよう指導。平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノカリが6月中下旬。 （愛媛県農林水産研究所 6月8日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 四国でイネいもち病（葉いもち）とツマグロヨコバイの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付） 6月の葉いもち、ウヅカ・ヨコバイ類の発生量は年並の予報（愛媛県 5月31日公表）
高知 (生育)	<p><早期水稲の生育状況（5月30日時点）> 生育進捗は4月5日植え南国そだちとコシヒカリではやや遅れ気味だが、4月14日植えコシヒカリでは年並となった。全体的に莖数が多いが、問題なく生育している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月5日植えの南国そだちは、草丈は年並より高く、莖数は年並より多く、葉齢でみた生育進捗は年並よりやや遅くなっている。 4月5日植えのコシヒカリは、草丈は年並より高く、莖数は年並より多く、葉齢でみた生育進捗は年並よりやや遅くなっている。 4月14日植えのコシヒカリは、草丈は年並より高く、莖数は年並より多く、葉齢でみた生育進捗は年並となっている。 （高知県農業技術センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 四国でイネいもち病（葉いもち）とツマグロヨコバイの発生が「多い」と予想（農林水産省 6月14日付） 6月の病害虫の発生量は、葉いもちが年並、ツマグロヨコバイは県中央部と県西部で多く、県東部と県中部ではやや少ない、セジロウカは年並、ヒメトビウカはやや少の予報（高知県病害虫防除所 6月6日公表）
福岡 (育苗・田植)	<ul style="list-style-type: none"> 早期水稲の田植えは年並で、5月15日までに終了。苗の活着や初期生育は良好。 普通期水稲は、5月15日現在、6月上中旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。出穂期移行の高温を想定し、「夢つくし」の田植えは6月上中旬、「ヒノカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。 （福岡県農林業総合試験場 平成29年5月15日現在（専任情報より抜粋）） 	
熊本		<ul style="list-style-type: none"> 6月の早期・早植水稲の葉いもちの発生量は年並の予報（熊本県病害虫防除所 5月31日公表）
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> 向こう1か月間の早期水稲の葉いもちの発生量は年並の予報（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月19日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> 6月1～5日に行った調査の結果、早期水稲地帯（県本土）では出穂期以降に斑点米カメムシ類の発生量がやや多いと予報（鹿児島県病害虫防除所 6月6日公表） 6月の早期水稲のいもち病の発生量はやや少、紋枯病の発生量は年並の予報（鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表）

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、状況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		生産数量目標			参考			
		平成29年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（28期）			
全 国	<p>・7月1日～7月30日の1か月間は、北・東日本では期間の前半、西日本では期間のはじめは、気温がかなり高くなる所があり、平均気温は、北・東・西日本では高い見込み。降水量は、北・東日本・西日本海側では平年並か多く、北日本太平洋側と西日本日本海側ではほぼ平年並、東・西日本太平洋側では平年並か少ない見込み。日照時間は、北日本・東日本太平洋側では平年並か少なく、北日本太平洋側と西日本日本海側ではほぼ平年並、東・西日本太平洋側では平年並か多い見込み。 （気象庁 6月29日発表）</p> <p>（7～9月の3か月間の見通し）</p> <p>・7月～9月の向こう3か月の気温は全国的に高い見込み。 降水量は、北日本はほぼ平年並、東・西日本は平年並か多い見込み。 （気象庁 6月23日発表）</p>	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103	
北 海 道	<p>・北海道地方の7月1日～7月30日の1か月間は、期間の前半は気温が平年よりかなり高くなり、向こう1か月の平均気温は平年より高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （札幌管区気象台 6月29日発表）</p> <p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北海道地方では、7月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.0℃以上） （札幌管区気象台 6月29日発表）</p>	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102	
青 森	<p>・東北地方の7月1日～7月30日の1か月間は、期間の前半は、太平洋側で気温がかなり高くなり、向こう1か月の平均気温は高くなる見込み。降水量は、日本海側では平年並か多く、太平洋側ではほぼ平年並の見込み。日照時間は、日本海側では平年並か少なく、太平洋側ではほぼ平年並の見込み。 （仙台管区気象台 6月29日発表）</p> <p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 東北地方では、7月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.6℃以上） （仙台管区気象台 6月29日発表）</p> <p>・東北地方は6月21日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月21日発表）</p>	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104	
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月29日発表、6月21日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102	
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月29日発表、6月21日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105	
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月29日発表、6月21日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104	
山 形	同上（仙台管区気象台 6月29日発表、6月21日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 6月29日発表、6月21日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102	
茨 城	<p>・関東甲信地方の7月1日～7月30日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少ない見込み。日照時間は、平年並か多い見込み。 （気象庁 6月29日発表）</p> <p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、7月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.7℃以上） （気象庁 6月29日発表）</p> <p>・関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表）</p>	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99	
栃 木	同上（気象庁 6月29日発表、6月7日発表）	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102	
埼 玉	同上（気象庁 6月29日発表、6月7日発表）	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101	
千 葉	同上（気象庁 6月29日発表、6月7日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102	
新 潟	<p>・北陸地方の7月1日～7月30日の1か月間は、平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （新潟地方気象台 6月29日発表）</p> <p>・北陸地方は6月21日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月21日発表）</p>	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108	
富 山	同上（新潟地方気象台 6月29日発表、6月21日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106	
石 川	同上（新潟地方気象台 6月29日発表、6月21日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104	
福 井	同上（新潟地方気象台 6月29日発表、6月21日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104	
長 野	<p>・関東甲信地方の7月1日～7月30日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少ない見込み。日照時間は、平年並か多い見込み。 （気象庁 6月29日発表）</p> <p>・「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、7月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。 （7日平均地域平年差+2.7℃以上） （気象庁 6月29日発表）</p> <p>・関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表）</p>	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方の7月1日～7月30日の1か月間は、平均気温は高い見込み。降水量は、日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並か少ない見込み。日照時間は、日本海側ではほぼ平年並、太平洋側では平年並が多い見込み。 (大阪管区気象台 6月29日発表) 近畿地方は、6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。(大阪管区気象台 6月7日発表) 	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月29日発表、6月7日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 中国地方の7月1日～7月30日の1か月間は、1週目と2週目の気温は高く、向こう1か月を平均した気温は高い見込み。降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (広島地方気象台 6月29日発表) 中国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。(広島地方気象台 6月7日発表) 	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 6月29日発表、6月7日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の7月1日～7月30日の1か月間は、平均気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (福岡管区気象台 6月29日発表) 九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。(福岡管区気象台 6月6日発表) 	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> 四国地方の7月1日～7月30日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高くなり、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (高松地方気象台 6月29日発表) 四国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。(高松地方気象台 6月7日発表) 	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 6月29日発表、6月7日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の7月1日～7月30日の1か月間は、平均気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (福岡管区気象台 6月29日発表) 九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。(福岡管区気象台 6月6日発表) 	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月29日発表、6月6日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> 九州南部地方の7月1日～7月30日の1か月間は、平均気温は平年並が高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (鹿児島地方気象台 6月29日発表) 九州南部は6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。(鹿児島地方気象台 6月6日発表) 	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月29日発表、6月6日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第3号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月20日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、
平成29年度病害虫発生予察情報第7号7月予報(北海道病害虫防除所 6月29日)、
稲作生産情報第4号(青森県 6月29日)、
H29水稲作況(6月20日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月21日)、
平成29年度病害虫発生予報第4号(7月予報)(青森県病害虫防除所 6月28日)、
平成29年度水稲生育定期調査結果No.3(6月26日現在)(岩手県農業研究センター 6月28日)、
農作物技術情報第4号水稲(岩手県 6月29日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第4号(7月予報)(岩手県病害虫防除所 6月28日)、
平成29年度産水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県農林水産部 6月21日)、
仙台稲作情報第3号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月23日)、
平成29年度 美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月22日)、
栗原の稲作通信平成29年3号(栗原農業改良普及センター 6月22日)、
稲作情報(Vol.3)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 6月22日)、
平成29年度大崎稲作情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月22日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 6月22日)、
平成29年度産気仙沼・南三陸稲作情報第4号(宮城県本吉農業改良普及センター 6月21日)、
平成29年度発生予察情報発生予報第5号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月23日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちゃんネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月23日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月26日)、
米づくり技術情報No.4(オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月20日)、
稲作だより第5号(JAさがえ西村山)JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 6月26日)、
稲作だより第5号~(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部(北村山農業技術普及課 6月23日)、
つや姫だより緊急号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日)、おいしい米づくり情報第7号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月22日)、
おきたま米づくり情報【号外】(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 6月26日)、
おいしい米づくり情報緊急号 生育確保編(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 6月22日)、
つや姫通信第2号中干し準備編(村山総合支庁農業技術普及課 6月14日)、
酒田飽海つや姫情報緊急号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月22日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第5号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月13日)、
稲作だより~第4号水管理緊急号~(北村山農業技術普及課 6月15日)、
おいしい米づくり情報第6号中干し準備編(村山総合支庁産業経済部農業技術普及課 6月14日)、
稲作だより第6号本田管理編(最上総合支庁農業技術普及課 6月14日)、
平成29年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第4号(7月)(山形県病害虫防除所 6月28日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第3号(福島県農林水産部 6月14日)、平成29年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月26日)、
農研速報 水稲の生育状況(6月20日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月26日)、
農研速報 水稲の生育状況(6月16日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月26日)、
病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月12日)、病害虫発生予報7月号(茨城県病害虫防除所 6月29日)、
平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.3(早稲栽培6月22日調査結果)(栃木県 6月26日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月16日)、
平成29年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県農業技術研究センター 6月19日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(7月予報)(埼玉県病害虫防除所 6月28日)、
水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月28日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究センター 6月14日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第3号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
H29若船米生育速報(6月20日現在)(村上農業普及指導センター 6月20日)、
水稲技術情報No.5(新発田農業普及指導センター 6月23日)、新発田地域水稲生育速報No.3(新発田農業普及指導センター 6月20日)、
中干し巡回情報(十日町版)(JA十日町、十日町農業普及指導センター 6月23日付)、6/20稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター 6月20日)、
稲作情報No.5(南魚沼農業普及指導センター 6月22日)、
稲作技術情報No.4(新潟農業普及指導センター 6月22日)、稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月20日)
稲作情報No.4(長岡農業普及指導センター 6月22日)、水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月20日)、
FAX稲作情報No.6(三条農業普及指導センター 6月20日)、
コンセハリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
柏崎地域新之助栽培情報No.3(柏崎農業普及指導センター 6月20日)、稲作管理情報No.3(柏崎農業普及指導センター 6月22日)、
平成29年上越地域米 コンセハリ・こいぶき 生育速報(6月20日)(上越農業普及指導センター 6月20日)、
平成29年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
平成29年度糸魚川売れる米づくりコンセハリ生育情報NO.2(糸魚川地域農林振興部 平成29年6月9日)、
水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月8日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第4号(7月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 6月29日)、
TACS情報第5号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月27日)、直播情報(第4号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月28日)、
病害虫発生注意報第1号(富山県農林水産総合技術センター 6月22日)、病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 5月31日)、
平成29年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-5号)(石川県農林総合研究センター 6月26日)、
病害虫発生予報第3号(石川県農林総合研究センター 6月15日)、平成29年度農作物病害虫発生予報第4号(福井県農業試験場 6月1日)、
稲作情報No.8(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルセンター、JA経済連、主要農作物振興協会) 6月23日)、
水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 6月21日)、
平成29年作物技術普及情報第9号(松本農業改良普及センター)、
病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、
平成29年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月27日)、「みずかがみ」栽培だより(滋賀県農業技術振興センター 6月19日)、
平成29年度病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所 6月20日)、
平成29年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月1日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、
稲作ワンポイントアドバイス(No2)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月21日)、農作物病害虫発生予報6号(山口県病害虫防除所 6月1日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 6月8日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県 5月31日)、
平成29年度における早期水稲の生育状況(5月30日時点)(高知県農業技術センター 6月12日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月6日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月19日)、
平成29年度技術情報第3号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月29日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)
全国こう3か月の天候の見通し・全国こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
異常天候早期警戒情報(気象庁)
梅雨の時期に関する関東甲信地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する近畿地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する中国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する四国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州北部(山口県含む)気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州南部・奄美地方気象情報2号(気象庁)
梅雨の時期に関する東北地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する北陸地方気象情報1号(気象庁)
平成29年農業用水情報(第12報)(栃木県 6月23日)